



自然と親しむ集い  
花巻市東和町「とうわメダカの里」訪問

### 秋の「自然と親しむ集い」

H26. 10/18(土)実施

おいらせ町「歴史と自然を愛する会」と共催で花巻市東和町「とうわメダカの里」を訪問しました。

とうわメダカの里は、特定非営利活動法人イーハトーブ里山水棲生物保存会(笹村五郎代表)が、借地に溜池を掘ってメダカを放流し、淡水魚の調査採集放流、エリア内の管理作業などメダカの里作りを中心とした活動を展開しています。その様子を訪問したみなさんと一緒に見てまわりましたが、屋内で活動の様子の写真や資料を見せていただきながら貴重な時間を過ごすことができました。



池にはゼニタナゴやシナイモツゴなどの希少種も生育している



池には、小魚のほかに大量のアメリカザリガニ(外来種)が...



雨が降っても、屋内で写真や資料をもとに説明をしていただきました

広大な敷地の維持管理もさることながら、外来種であるオオハンゴンソウやアメリカザリガニの侵入により、希少種を含めて在来種が駆逐されてしまうのをどのように除去するかが課題とのことでした。

また、環境学習として体験型プログラムを実施し、子供たちを中心としてたくさんの方が自然とふれあう場となっており、当会としても大いに参考となりました。

春の小川プロジェクト研修会 平成27年2月14日(土)開催

### とうわメダカの里の活動

【講師】イーハトーブ里山保存会 菊池健夫氏



10月の東和町訪問の縁で研修会の講師に里山保存会の菊池氏を春の小川研修会の講師に招きご講演をいただきました。

里山では、子どもを対象にした活動が活発に展開されており、土や水、生物や植物など、あらゆる自然を通し、たくさんの方を学ぶ機会を与え、「活動が人をつなげ、その活動によって人と自然を育てる。それによって自然も人間も成長している…」それを目標に活動をしているということです。

菊池氏のお話から、自然界は、常に確かなサイクルで生き続けているということを実感させてくれました。中でも、どんぐりの木の葉が青いうちに落ちるのは世代交代の準備のため、過酷な中で生き残るために数多くを残さなければならないことを知っているからだといいます。

里山での活動の中で子どもたちは、自然の営みから数多くのことを学び、選択の自由を与えながら、人の将来と自然の将来のあるべき姿を想像させながら、将来の活動に直接つながることも目的の一つに考えているそうです。

活動は、時に法律の壁に「あちこち」ぶつかりしますが、活動を止めることなく次の世代に何を残せるか?ということを考えて活動していると、活動に対する自信を感じさせました。

最後の質疑応答に、会場からはたくさんの質問の手があがりました。

(質問の中のひとつをご紹介します。)

泥棒対策として「管理をしている」という意思表示をしておくことが必要。針金を1本張っておくだけでも効果ある。」ということです。



春の小川のエリアになまえが付きまして。みなさんに愛されることを願っています。

# つぼころの里

つぼころ...のおはなし

阿光坊の郷土史家の故成田健康氏は、その著書『阿光坊の史跡と伝説』の中で次のように述べています。「阿光坊北方原野(通称三本木平)の傾斜地に、つぼころの沢(つぼくる沢の意)と云って大きな穴から清水が渾々と湧き出している所がある。(中略)都母と「つぼ」の音が似ているので何等かの関係があったものであろうか。」

以上を手掛かりに、つぼころの沢の由来を考えてみると、昔(奈良時代の頃)、「つぼころの沢」の周辺は、水が豊富であり、たくさんの人々が暮らしていたと推定されます。(このことは現在でも大きな湧水があり、住居跡の遺跡があることから確認できます。)

昔、当地から北西に当たる方向に「都母(つも)」と呼ばれる村がありました。現在の七戸町(旧天間林村)の坪(つぼ)がその中心的な場所とされています。そこに住む人々が交易のためか、あるいは対抗関係にあったからか、とにかく何らかの目的があつて当地にやって来ました。このことが後世に伝わって「つぼ」が「来る」沢→「つぼくる沢」→「つぼころ沢」と呼ばれるようになったと考えられます。

### 念願の看板が設置されます

春の小川存在を知らせる「看板」が完成しました。

みなさんが、自由に足を運び水辺や東屋、野花を楽しめるよう整備していく予定となっております。

まだまだ、草に追いつかれている現状ですが、少しずつですが整備を進めていければと思っています。乞うご期待を!

会員のみなさんも、是非楽しみにしていただければと思います。

### 「つぼころくる」です!

この紙面の上の方にいる僕は、つぼころの里のキャラクター「つぼころくる」です。春の小川のエリアで、一緒に遊びましょう! みなさんに愛される存在でありますように...と願っています。

どうぞ、よろしくお願ひします。



大きな、大きな春の小川を象徴する看板です。東屋の隣に設置予定です。



案内看板です。カワヨ入口春の小川入口の2カ所に設置予定。